

# 平成27年度事業報告書



公益財団法人 **ひょうご環境創造協会**  
Hyogo Environmental Advancement Association

## 目 次

■	平成 27 年度事業報告	1
	（1）中期経営計画の着実な実施	1
	（2）移転の着実な実施	1
	（3）各部・センターの主な目標と取組評価	2
1	環境創造事業	6
	（1）地球温暖化防止の推進	6
	（2）生物多様性保全の推進	9
	（3）環境学習・教育の推進	9
	（4）環境保全創造活動の促進	11
2	循環型社会推進事業	12
	（1）廃棄物処理等に係る市町等支援事業等	12
	（2）廃棄物の再資源化事業	13
	（3）廃棄物の最終処分事業	14
	（4）環境ビジネスの推進	15
	（5）普及啓発事業	16
3	環境調査・測定分析事業（環境技術事業本部）	18
	（1）営業活動の推進	18
	（2）環境調査事業	18
	（3）測定分析事業	19
4	環境研究事業（兵庫県環境研究センター）	21
	（1）多様化する環境問題への対応	21
	（2）環境危機への対応	26
	（3）研究成果の情報発信等	26
5	太陽光発電事業	28
6	国際協力事業	29
7	広報普及活動	31
8	環境管理の推進	32

## 平成27年度 事業報告

公益財団法人ひょうご環境創造協会は、環境の保全と創造に資することを目的に、県民、NGO・NPO、事業者、行政とともに、地球規模から地域レベルまで幅広い環境問題に一元的・総合的に取り組み、次世代に継承する「環境適合型社会」の実現を目指し、各種事業を実施している。

平成27年度においては、経営管理の徹底を図るとともに、経営の安定化に向けた効果的・効率的な事業運営を着実に進め、前年度に引き続き損益ベースでの黒字を実現するなど、「中期経営計画」を着実に推進した。

### (1) 中期経営計画の着実な実施

#### ① 将来ビジョン実現に向けた取り組み

将来ビジョンに掲げる各事業の目標の達成に向け、様々な取り組みを実施した。

#### ② 経営の安定化に向けた取り組み

##### ア 独立採算を旨とした環境調査・測定分析事業の推進

- ・経営判断の迅速化と運営責任の明確化を図るために設置した環境技術事業本部において、営業～サンプリング～分析～経理までの一体的な管理により、迅速な業務執行と経営改善に努めた。
- ・定期的に連絡会議（課長・副課長会議）を開催し、受注状況、分析進捗状況、納期遵守状況等を確認することにより、進捗管理の一元化による業務の効率化、分析機器の稼働率向上に努めた。
- ・営業方針に沿った機動的な営業活動や、社会情勢に対応した迅速な分析体制の整備により技術力・信頼性を生かしながら民間との差別化を進め、公益セクターとしての役割への特化に努めた。

##### イ その他事業の経営の安定化に向けた取り組みの推進

- ・セメントリサイクル事業に参画する市町等の拡大、焼却灰・ばいじんの受入量確保に向け、営業活動を展開した。
- ・但馬最終処分場事業の平成28年度完了に向けた地元調整に取り組んだ。
- ・太陽光発電事業を着実に推進し、収益を公益事業等に活用した。

##### ウ 事業量と収益に見合う体制の構築

- ・プロパー職員は退職不補充を原則とし、業務量に応じ、OB職員、非正規職員を配置した。
- ・給料等については、各事業の収益の状況を勘案して決定した。

### (2) 移転の着実な実施

兵庫県立工業技術センターの整備に伴う環境創造部の移転を計画的に実施し、平成27年8月末に完了した。

(3) 各部・センターの主な目標と取組評価

【経営企画部】

①	収益及び経費節減等の状況の的確な把握による経営管理の徹底 【目標】・税理士及び監事による月例監査を着実に実施するとともに、運営会議等において収益及び経費節減等の状況を報告し、迅速な対応を検討する。 ・各部と連携した経費削減の取り組みを推進する。
	取組 ・平成26年度に策定した中期経営計画に基づき、年度当初に各事業の課題に応じた具体的な取組みとその時期を定めた実施計画を作成し、常勤役員・部長・センター長等で構成する毎月の運営会議において、その取組状況を点検するほか、収益及び経費節減の状況把握と対応の検討を行うなど、経営管理の徹底に取り組んだ。
	評価 ・中期経営計画を着実に推進し、平成26年度に引き続き資金収支ベースでの黒字を達成した。
②	計画的な人材育成の推進 【目標】技術資格取得に向けた計画的な人材育成 主要資格合格者数1名以上
	取組 ・協会の発展に寄与する人材を育成するため、経験に応じた職務能力の向上・意識改革を目的とした階層教育の実施及び最新情報の入手や技術習得のためのセミナー・事例発表会等への参加を進めるとともに、資格取得支援要領に基づき受験経費の支援を行った。
	評価 ・技術士1名、土壌汚染調査技術管理者1名の合格者を得た。

【環境創造部】

①	うちエコ診断、地域で活動するNPO支援・連携促進事業等の取り組みによる地球温暖化防止活動の一層の推進 【目標】・うちエコ診断 800件以上 ・事業実施によるCO <sub>2</sub> 排出削減量1,000t
	取組 ・家庭を対象としたうちエコ診断、地域で活動するNPO支援・連携促進事業、地球温暖化防止活動推進員活動促進事業等の取り組みにより、温暖化防止活動の一層の推進を図った。
	評価 ・県民を対象に691件のうちエコ診断を行うとともに、地域で活動するNPO等と連携したスマートムーブ実践推進事業により1,711tのCO <sub>2</sub> 排出量の削減ができた。 (事業別削減量) うちエコ診断事業 1,641t スマートムーブ事業 70t

②	ひょうご環境体験館の運営、出前環境教室等による環境学習・教育の推進 【目標】・ひょうご環境体験館利用者数 32,000人	
	取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご環境体験館の利用者数の増加を図るため、次の取組を重点施策として実施した。</li> <li>①効果的な広報活動の実施（県内全域の小中高校へ広報チラシの配布、校長会や子ども会総会等でのPR等）</li> <li>②関係機関との連携の強化（農業改良普及センター、県立上郡高校、にしはりまクリーンセンター、住友大阪セメント(株)赤穂工場、県立こどもの館、オプトピア（企業庁）等）</li> <li>③展示内容の充実（来館数の多い親子を対象とした通常展示、成人を対象とした高度な内容の特別テーマの展示等）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習を希望する団体に講師を派遣する出前環境教室を実施した。</li> </ul>
	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご環境体験館については、県立こどもの館と連携した新たなプログラムの実施など関係機関との連携強化や展示内容の充実に努めたが、夏季週末の天候不順等の影響もあり、年間の利用者数は30,078人となり目標を6%下回った。</li> </ul>

### 【資源循環部】

①	廃棄物の再資源化事業（セメントリサイクル事業）推進のための年間搬入目標量の確保 【目標】・焼却灰10,000t、ばいじん6,900t、合計：16,900t	
	取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携し、県内の市町に対して、セメントリサイクル事業の活用を働きかけた。また、施設に余裕のある範囲内での受入れについて、他府県の市町村に対し、セメントリサイクル事業への搬入を働きかけた。</li> </ul>
	評価	<p>【実績】焼却灰9,998t、ばいじん6,590t、合計：16,588t</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却灰については、目標をほぼ達成することができた。</li> <li>・ばいじんについては、大口の搬入自治体である加古川市がごみ焼却量の削減に取り組んだ結果、ばいじんの発生量が大きく減少し、受入量が目標に達しなかった。</li> </ul>
②	廃棄物の最終処分事業（但馬最終処分場運営事業）終了に向けての建設残土等の受入 【目標】・産業廃棄物1,480t、建設残土43,200t、合計：44,680t	
	取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係行政機関に対して公共工事の残土処分場としての活用を働きかけた。</li> <li>また、行政機関の要請を受けて残土の受入時間を延長し、受入量の確保に努めた。</li> </ul>
	評価	<p>【実績】産業廃棄物2,751t、建設残土34,062t、合計：36,813t</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物については、目標を大きく上回った。</li> <li>・建設残土については、当初想定より浜坂道路建設残土の搬入量が減少したことにより目標を下回った。</li> </ul>

### 【環境技術事業本部】

①	<p>公募提案型事業への応募、発注情報の早期収集等、積極的な営業活動の推進</p> <p>【目標】・環境調査・測定分析事業の年間総受託額 6億2千万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規公募提案型事業受託件数 2件</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会議を毎月開催し、年度開始時に定めた営業方針に基づき、公益法人の意義、環境研究センターとの繋がりをアピール点とした営業活動を行うとともに、過去の入札データの分析、分析業者間の情報交換など全職員の人的ネットワークを活用した営業活動を推進した。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国等の提案型案件について積極的に応募し、2件の採択を得た。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルビアプロジェクト (JICA 草の根技術協力事業 平成 25～28 年度)</li> </ul> </li> <li>・航空機騒音測定・評価方法に関する検討調査業務 (環境省自動車環境対策課 平成 27 年度)</li> <li>・当初予算を 3% 上回り、年間受託額は 641 百万円となった。</li> </ul>
②	<p>分析の精度管理の向上と徹底</p> <p>【目標】精度管理を実施し、分析の精度及び正確さの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部精度管理 無機物：濃度既知試料の測定値が設定値の±10%以内 有機物：濃度既知試料の測定値が設定値の±20%以内</li> <li>・外部精度管理：原則として、Zスコア±2以内</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析精度を適正に維持できるよう、年度計画をもとに精度管理を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部精度管理 14 項目</li> <li>・外部精度管理 30 項目(うち、2 項目は Z スコアが±2 を超過)</li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部精度管理で Z スコアが目標を満足できなかった 2 項目については、原因究明の後、改善措置を講じた。</li> <li>・その他実施した精度管理においては、いずれも目標を達成した。</li> </ul>

### 【兵庫県環境研究センター】

①	<p>多様化する環境問題への対応</p> <p>【目標】県内の環境の状況や発生源の動向を的確に把握・解析し、多様化する環境問題に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主研究課題 3 項目</li> <li>・国環研・地環研との共同研究課題 4 項目</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標どおり、自主研究課題 3 項目、国立環境研究所及び地方環境研究所との共同研究 4 項目に取り組むとともに、国等の資金を得て大学等との共同研究を実施した。</li> </ul>

	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主研究課題については年度末に研究課題評価調整会議を開催し、全項目とも5段階評価の4以上の評価を得た。その他の研究課題については、日本環境化学会、大気環境学会、日本水環境学会等で研究成果を発表した。</li> </ul>
②	環境危機への対応	<p>【目標】化学物質の迅速分析法等の調査研究を推進し、有害物質漏えい等の緊急時に対応する。</p>
	取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時体制を整備するとともに、水中の農薬等を分析するための迅速前処理カートリッジの実証試験に加わるなど、迅速分析手法に係る情報収集と共有化を行った。</li> </ul>
	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質事故等を想定した緊急時体制を県と連携して整備するとともに、迅速分析手法の情報収集を推進し、利用方策の検討を深めた。</li> </ul>

# 1 環境創造事業

## (1) 地球温暖化防止の推進

地球温暖化対策の最大の課題はCO<sub>2</sub>の排出量削減であり、そのために「化石燃料の消費を減らす」、「再生可能エネルギーを増やす」ことを目標に事業を展開した。

### ① 家庭における省エネ・CO<sub>2</sub>排出量削減の推進 (16,021千円)

事業名	事業内容			
「うちエコ診断」 (CO <sub>2</sub> 排出見える化・削減事業)の推進	家庭での省エネ・CO <sub>2</sub> 排出量削減を支援するため、家庭の電気・ガス・水道・ガソリン料金をはじめ、家の広さ、冷蔵庫の大きさ等38項目をパソコンに入力し、どこから、どれだけCO <sub>2</sub> が排出されているかを分析するとともに、それぞれの家庭のライフスタイルに応じた省エネ対策を提案する「うちエコ診断事業」を実施した。			
		H26実績	H27目標	H27実績
	うちエコ診断受診者数	830件	800件	691件
	事業実施によるCO <sub>2</sub> 排出削減量	1,787t	1,000t	1,641t
家庭における省エネ支援(HEMS機器設置)事業 <b>新規</b>	家庭内のエネルギー使用状況を見える化し、エネルギー使用を制御するホーム・エネルギー・マネジメントシステム(HEMS)の機器設置費用の一部を補助し、家庭での省エネ・CO <sub>2</sub> 排出量削減の促進を図った。 交付決定件数：222件			

### ② 事業者の環境への取り組みの推進 (14,259千円)

事業名	事業内容			
エコアクション21 (EA21)の導入促進	県内事業者が、CO <sub>2</sub> 排出量削減や廃棄物の削減など環境への取り組みを効果的、効率的に行うため、事業者からの環境保全への取り組みについての相談に対応し、EA21の認証・登録を支援した。			
		H26実績	H27目標	H27実績
	EA21認証取得事業者数	41件	40件	54件

③ 再生可能エネルギーの創出

(11,997千円)

事業名	事業内容												
ひょうごグリーンエネルギー基金事業	<p>県民からの寄附金のほか、県民施設やイベント会場等での募金(カーボンオフセット募金)、公的なメガワットソーラーからの拠出金により「ひょうごグリーンエネルギー基金」を積み立てている。</p> <p>積み立てた基金を活用して、自然エネルギーによる「県民発電所」として設置することにより、再生可能エネルギーの普及促進と県民の環境意識の向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の収入総額</td> <td>5,204千円</td> <td>5,000千円</td> <td>4,171千円</td> </tr> <tr> <td>県民発電施設設置件数(延べ)</td> <td>21件</td> <td>22件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	基金の収入総額	5,204千円	5,000千円	4,171千円	県民発電施設設置件数(延べ)	21件	22件	21件
	H26実績	H27目標	H27実績										
基金の収入総額	5,204千円	5,000千円	4,171千円										
県民発電施設設置件数(延べ)	21件	22件	21件										
兵庫県施設を活用した太陽光発電実証事業	<p>県立施設を活用して、安価で普及可能な陸屋根(建物の屋上)への設置工法の検証を行い、陸屋根を活用した太陽光発電設備の導入促進を図った。</p> <p>【実証実験期間】平成25年度～20年間</p> <p>【設置場所】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実証施設</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立光風病院</td> <td>                     発電規模 114.6kW                      関西電力連携開始 H25.9.20                      H25 発電量(実績) 47,690kWh                      H26 発電量(実績) 125,192kWh                      H27 発電量(実績) 122,419kWh                 </td> </tr> <tr> <td>県立三木北高等学校</td> <td>                     発電規模 101.2kW                      関西電力連携開始 H25.7.23                      H25 発電量(実績) 37,966kWh                      H26 発電量(実績) 121,004kWh                      H27 発電量(実績) 118,058kWh                 </td> </tr> </tbody> </table>	実証施設	概要	県立光風病院	発電規模 114.6kW 関西電力連携開始 H25.9.20 H25 発電量(実績) 47,690kWh H26 発電量(実績) 125,192kWh H27 発電量(実績) 122,419kWh	県立三木北高等学校	発電規模 101.2kW 関西電力連携開始 H25.7.23 H25 発電量(実績) 37,966kWh H26 発電量(実績) 121,004kWh H27 発電量(実績) 118,058kWh						
実証施設	概要												
県立光風病院	発電規模 114.6kW 関西電力連携開始 H25.9.20 H25 発電量(実績) 47,690kWh H26 発電量(実績) 125,192kWh H27 発電量(実績) 122,419kWh												
県立三木北高等学校	発電規模 101.2kW 関西電力連携開始 H25.7.23 H25 発電量(実績) 37,966kWh H26 発電量(実績) 121,004kWh H27 発電量(実績) 118,058kWh												

④ 再生可能エネルギーの普及

(10,362千円)

事業名	事業内容								
再生可能エネルギー相談支援センター運営事業	<p>再生可能エネルギー発電設備の導入に関する総合的な相談に応じるとともに、必要に応じて現地に専門家を派遣し、技術的なアドバイスを行うことにより、再生可能エネルギーの一層の普及促進を図った。</p> <p>また、小規模事業所を対象として省エネルギーに関する助言を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援・助言等による再生可能エネルギー施設導入件数</td> <td>36件</td> <td>40件</td> <td>42件</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	支援・助言等による再生可能エネルギー施設導入件数	36件	40件	42件
	H26実績	H27目標	H27実績						
支援・助言等による再生可能エネルギー施設導入件数	36件	40件	42件						

事業名	事業内容
再生可能エネルギー人材育成事業 (「再生可能エネルギーコンサルティング事業」から名称変更)	再生可能エネルギー相談支援センターでのOJT等を通じて、再生可能エネルギー設備の導入に係る総合的なコンサルタント業務を担える人材を育成した。
地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業	地域資源を生かした地域主導の再生可能エネルギーの導入を促進するため、新たに再生可能エネルギー発電設備の導入を行う自治会・NPO法人等に対して、県と一体となって技術的支援や導入資金の一部の無利子貸付を行った。 貸付件数：6件 貸付金額：42,411千円

⑤ 地球温暖化防止活動の推進

(10,972千円)

事業名	事業内容								
地球温暖化防止活動推進員活動支援事業	地球温暖化対策の重要性について、県民への普及啓発等に取り組む「兵庫県地球温暖化防止活動推進員」のグループ活動に対して、活動費を支援した。 <table border="1" data-bbox="689 1102 1343 1196"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進員の活動回数</td> <td>2,435回</td> <td>2,400回</td> <td>2,316回</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	推進員の活動回数	2,435回	2,400回	2,316回
	H26実績	H27目標	H27実績						
推進員の活動回数	2,435回	2,400回	2,316回						
地域における地球温暖化防止活動促進事業 (「地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業」から名称変更)	地域における地球温暖化防止活動を促進するため、兵庫県地球温暖化防止活動推進員等を対象に交流会及び研修会を開催した。 <交流会> ①開催日：平成27年9月29日(火) 開催場所：神戸市内 参加者数：69名 ②開催日：平成27年10月1日(木) 開催場所：加東市内 参加者数：18名 <研修会> 開催日：平成27年12月22日(火) 開催場所：神戸市内 参加者数：149名 テーマ：パリ協定の歴史的意義と今後の課題 また、地域の学習会で活用できる環境学習教材(食とフードマイレージに関する教材等)を新たに作成した。								

事業名	事業内容
地域で活動する NPO 支援・連携促進事業 (「スマートムーブ 実践推進による CO <sub>2</sub> 削減事業」から名称変更)	「エコドライブの推進」と「ノーマイカー活動」を通して CO <sub>2</sub> 削減を図ることを目的に、地域で実践活動を行う NPO 団体や事業者団体、行政等とコンソーシアムを形成し、CO <sub>2</sub> 排出削減量の実証・評価を行い、効果を広く県民に周知した。 <エコドライブ活動> 実施地域：明石市、加東市、豊岡市 参加者数：40 名 <ノーマイカー活動> 実施地域：川西市 参加者数：述べ 146 名

## (2) 生物多様性保全の推進

(8,549 千円)

「生物多様性ひょうご戦略(改定版)」(平成26年3月)をもとに、県民への普及啓発や環境NPO・企業等の連携促進等を図った。

事業名	事業内容												
生物多様性ひょうご基金事業	企業等からの寄附金を「生物多様性ひょうご基金」に受け入れ、県が選定した「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」の実践活動に対して助成することにより、生物多様性保全を推進した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金への寄附額</td> <td>3,499 千円</td> <td>3,000 千円</td> <td>3,993 千円</td> </tr> <tr> <td>助成団体数</td> <td>10 団体</td> <td>10 団体</td> <td>34 団体</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	基金への寄附額	3,499 千円	3,000 千円	3,993 千円	助成団体数	10 団体	10 団体	34 団体
	H26 実績	H27 目標	H27 実績										
基金への寄附額	3,499 千円	3,000 千円	3,993 千円										
助成団体数	10 団体	10 団体	34 団体										
武庫川流域連携促進支援事業	武庫川水系河川整備計画に掲げた流域連携を促進するため、武庫川流域の活動主体の交流会の開催を通じて、多様な主体からなる「自律的なネットワーク」の形成を支援した。 開催日：平成27年10月17日(土) 開催場所：宝塚市内 参加者数：52人												

## (3) 環境学習・教育の推進

### ① 「ひょうごエコプラザ」の運営

(6,630 千円)

県民、環境団体等が行う環境学習に関するさまざまな相談に応じるため、環境学習・教育の中間拠点である「ひょうごエコプラザ」に、環境学習・教育コーディネーターを配置し、学習方法やプログラムの提案、講師やサポーターの斡旋、環境学習ツールの貸出等を行い、情報発信・活動支援・交流促進を図った。

	H26 実績	H27 目標	H27 実績
ひょうごエコプラザ利用者数	2,490 人	2,500 人	2,076 人

② 「ひょうご環境体験館」の管理運営 (38,532 千円)

事業名	事業内容								
ひょうご環境体験館の管理運営	<p>県の環境学習拠点施設である「ひょうご環境体験館」の指定管理者として、環境学習プログラムに沿った体験型環境学習を実施するとともに、地球温暖化防止などの企画展示や出張講座を実施した。</p> <p>なお、平成 28 年度から 5 年間の指定管理者に応募し、選定委員会による決定、県議会での承認が得られ、引き続き事業運営を行うことになった。</p> <table border="1" data-bbox="683 815 1337 927"> <tr> <td></td> <td>H26 実績</td> <td>H27 目標</td> <td>H27 実績</td> </tr> <tr> <td>ひょうご環境体験館利用者数</td> <td>31,212 人</td> <td>32,000 人</td> <td>30,078 人</td> </tr> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	ひょうご環境体験館利用者数	31,212 人	32,000 人	30,078 人
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
ひょうご環境体験館利用者数	31,212 人	32,000 人	30,078 人						

③ 県民の環境学習の促進 (10,814 千円)

県内の環境学習に係るフィールドや人材の活用・連携を図り、あらゆる世代のライフステージに応じた環境学習の裾野を広げた。

事業名	事業内容								
エコツーリズムバス運行支援事業	<p>県民に環境学習や自然とのふれあいの機会を提供しエコツーリズムを推進するため、20 人以上の団体又は小中学校が、県内環境関連施設等において環境学習プログラムを実施する場合、バスの借り上げ経費の一部を助成した。</p> <p>助成件数：一般 72 団体 (84 台) 小中学校 93 校 (162 台)</p>								
ひょうご出前環境教室の開催	<p>県民に対する環境学習の機会を提供するため、県内の小中学校や自治会等地域団体、子供会等へ講師を派遣した。</p> <table border="1" data-bbox="699 1666 1353 1778"> <tr> <td></td> <td>H26 実績</td> <td>H27 目標</td> <td>H27 実績</td> </tr> <tr> <td>ひょうご出前環境教室開催件数</td> <td>84 件</td> <td>100 件</td> <td>79 件</td> </tr> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	ひょうご出前環境教室開催件数	84 件	100 件	79 件
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
ひょうご出前環境教室開催件数	84 件	100 件	79 件						
啓発資材提供	<p>県民への効果的な環境学習を支援するため、パンフレットの提供やパネル、DVD 等啓発資材を地球温暖化防止活動推進員等に貸し出しを行った。</p> <p>貸出件数：96 件</p>								

事業名	事業内容
地球と共生・環境の集い	<p>県民に対する環境配慮型ライフスタイルの実践への取り組みを啓発するため、環境月間に合わせて6月に講演会等を兵庫県と共同で開催した。</p> <p>開催日：平成27年6月3日(水)</p> <p>開催場所：県公館</p> <p>参加者数：259人</p>
さわやか環境フェスティバル出展	<p>県民のライフスタイルの実践への取り組みを啓発するため、環境に関する総合的なイベントを兵庫県と共同で出展した。</p> <p>開催日：平成27年11月14日(土)・15日(日)</p> <p>開催場所：淡路ワールドパーク ONOKORO 動物愛護センター淡路支所芝生広場</p> <p>参加者数：述べ40,000人</p>
環境学習ナビゲーター育成事業 新規	<p>環境学習に関するプログラムや支援人材の情報を収集し、WEBサイト(ひょうごの環境学習ひろば)を通じて発信するとともに、各種の相談対応を行う環境学習ナビゲーターを配置し、環境学習基盤を強化するための人材を育成した。</p>

#### (4) 環境保全創造活動の促進

(3,184千円)

県民・NPO等の環境の保全創造活動への支援や連携・交流の促進を図ることにより、環境保全創造活動を推進した。

事業名	事業内容											
環境保全創造活動支援事業	<p>県内で地球温暖化防止や生物多様性の普及啓発などの環境保全創造活動を行っている団体に対し、実践的活動費の助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動費助成件数</td> <td>11件</td> <td>12件以上</td> <td>14件</td> </tr> </tbody> </table>					H26実績	H27目標	H27実績	活動費助成件数	11件	12件以上	14件
	H26実績	H27目標	H27実績									
活動費助成件数	11件	12件以上	14件									

## 2 循環型社会推進事業

### (1) 廃棄物処理等に係る市町等支援事業等

(11,184千円)

事業名	事業内容								
市町等の廃棄物処理施設整備や一般廃棄物減量化・処理に係る相談対応	廃棄物処理施設の建設は20～30年に一度であるため、個々の市町等では必要なノウハウを保有する技術者の確保が困難である。そこで市町等からの要請に基づき、廃棄物処理計画の作成、廃棄物処理施設に係る機種を選定・発注仕様書作成や廃棄物の適正処理等の相談業務を行った。								
市町等からの委託による廃棄物処理施設整備に係る事務支援事業	平成27年度は、市町からの支援要請による委託事業はなかった。								
市町等の廃棄物担当職員の研修	<p>新たにごみ処理事業に従事することになった市町等の職員を対象に、基礎的・実務的な知識の習得を目的とする研修会を平成27年5月22日に兵庫県中央労働センターで開催した（参加者数70名）。</p> <p>また、ごみ処理事業に従事する中堅職員を対象に、再生可能エネルギー施設見学会を平成27年8月28日に淡路島の五色町で開催した（参加者数40名）。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町等職員研修会等参加者数</td> <td>延92人</td> <td>延80人</td> <td>延110人</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	市町等職員研修会等参加者数	延92人	延80人	延110人
	H26実績	H27目標	H27実績						
市町等職員研修会等参加者数	延92人	延80人	延110人						
兵庫県災害廃棄物対策協力員制度の構築 <b>新規</b>	<p>近年、多発する災害時に、災害廃棄物を迅速かつ適切に処理できるよう市町への助言を行う「兵庫県災害廃棄物対策協力員制度」（協力員：県・市町OB職員）を平成27年9月1日に発足させ、事務局を当協会資源循環部に設置した。</p> <p>また、登録のあった兵庫県災害対策協力員を対象に、災害廃棄物対策を巡る国の動き等に関する研修会を平成27年12月10日に当協会資源循環部会議室にて開催し、協力員10人が参加した。</p>								
兵庫県災害廃棄物対策研修 <b>新規</b>	兵庫県では、平成27年度から3年間、災害廃棄物の処理対応に係る研修会を開催し、県及び市町等の連携を確認するとともに、職員のスキルアップを図ることとしている。平成27年度は、水害をテーマとして、平成27年10月29日に兵庫県民会館にて研修会を実施し、県市町職員等42人が参加した。当協会は、この事務局の一員として円滑な事業運営を支援した。								

事業名	事業内容
兵庫方式による廃家電回収システムの推進	兵庫県では、兵庫県電機商業組合登録店が対象機器（引き取りを義務化されていないものを含む）を消費者から引き取り、それらを広域的に回収・運搬する「廃家電の回収・運搬システム“兵庫方式”」を導入し、消費者が負担する費用の軽減化を図った。 普及啓発事業として、平成27年11月14日～15日に淡路ワールドパーク ONOKORO で開催された「淡路ふれあいフェスティバル」に出展し、廃家電リサイクルに係るパネル展示とクイズを実施した。
原状回復及び原状回復調査事業	投棄原因者が不明又は資金力不足の場合、土地所有者・区市町等の要請に基づき、委員会で審査のうえ、原状回復事業を行うとともに、不法投棄量等を把握する必要があるとき、調査を実施することとしているが、平成27年度は対策を要する案件はなかった。
未然防止及び再発防止対策に係る助成事業	市町等の要請に基づき、廃棄物の不法投棄・不適正処理の未然防止及び再発防止対策に対して助成を行うこととしているが、平成27年度は助成を要する案件はなかった。

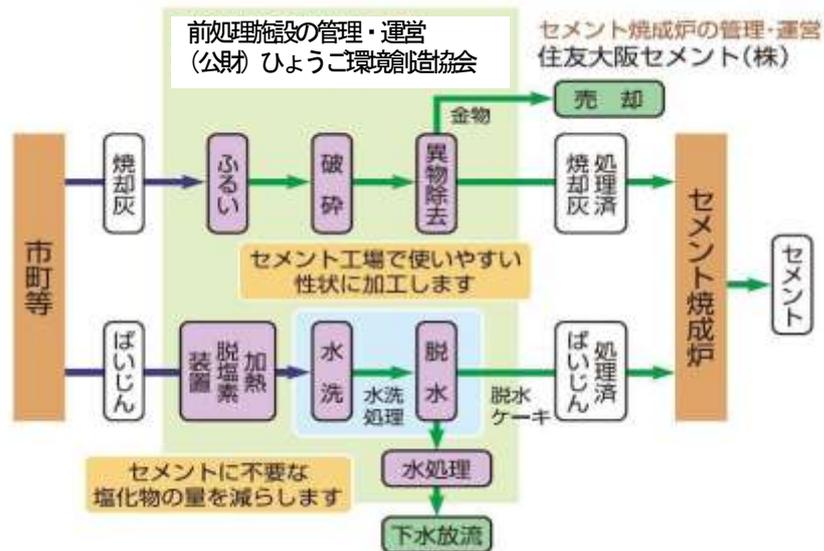
(2) 廃棄物の再資源化事業（セメントリサイクル事業）

(498,091千円)

市町等のごみ焼却施設から排出される焼却灰及びばいじんの再資源化事業を、住友大阪セメント（株）と共同して取り組んだ。

セメントリサイクル事業に参画する市町等のさらなる拡大・受入量の増加に努めた。

区分	(公財)ひょうご環境創造協会	住友大阪セメント(株)
事業担	・市町等からの焼却灰・ばいじんの受入 ・焼却灰及びばいじんをセメント原料として利用するための前処理	・前処理後物のセメント焼成処理
事業所	(公財)ひょうご環境創造協会赤穂事業所 赤穂市西浜町 1016-1	住友大阪セメント(株)赤穂工場 赤穂市折方字中水尾 1513
処理能力	焼却灰 84.0t/日 ばいじん 60.0t/日	—
年間処理可能量	焼却灰 26,000t/年 ばいじん 10,000t/年	—



	H26 実績	H27 目標	H27 実績
焼却灰受入量	9,546t	10,000t	9,998t
ばいじん受入量	6,727t	6,900t	6,590t
計	16,273t	16,900t	16,588t

### (3) 廃棄物の最終処分事業

#### ① 但馬最終処分場事業

(39,335千円)

但馬地域における産業廃棄物・建設残土を広域的かつ適正に処分するため、但馬地域の唯一の産業廃棄物最終処分場として運営した。

建設残土は、主として浜坂道路の建設残土を受け入れた。(平成27年度で最終処分場の受入を終了した。)

区分	内容
処分場の種類	安定型最終処分場
所在地	美方郡香美町香住区油良字ヨウロ
処分場面積	約 7ha
受入容量	約 93万m <sup>3</sup>
事業期間	平成13～28年度
受入対象物	建設残土、建設廃材(がれき類)、ガラス・陶磁器くず
受入対象区域	但馬地域3市2町

	H26 実績	H27 目標	H27 実績
産業廃棄物受入量	2,228t	1,480t	2,751t
建設残土受入量	115,352t	43,200t	34,062t
計	117,580t	44,680t	36,813t

② フェニックス受託事業 (396,704 千円)

大阪湾フェニックス計画を円滑に推進するため、事業受託が可能な兵庫県内で唯一の広域的な廃棄物処理団体である当協会が、兵庫県域の受入基地及び埋立処分場における廃棄物及び残土の受入業務を大阪湾広域臨海環境整備センターから受託し、受付計量・船舶投入・保管等を行った。

業 務 場 所	業務内容
尼崎沖処分場（尼崎市東海岸町地先）	受付計量業務
尼崎基地（尼崎市平左衛門町70番地） 神戸基地（神戸市灘区灘浜町1番2号） 播磨基地（加古郡播磨町新島13-1） 津名基地（淡路市志筑新島） 姫路基地（姫路市飾磨区今在家字近藤新田1351-17地先）	受付計量業務 船舶投入業務 保管業務 等

(4) 環境ビジネスの推進

① ひょうごエコタウン構想の推進 (6,000 千円)

事 業 名	事 業 内 容												
「ひょうごエコタウン推進会議」への支援	<p>兵庫県が策定した「ひょうごエコタウン構想」の実現に向け、当協会が事務局となっている「ひょうごエコタウン推進会議」に対し、運営支援を行った。</p> <p>&lt;ひょうご環境ビジネス展&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成27年9月3日～4日</li> <li>・開催場所：神戸国際展示場2号館</li> <li>・参加者数：29,455人</li> </ul> <p>&lt;ひょうご環境ビジネスセミナー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成27年9月4日</li> <li>・開催場所：神戸国際展示場2号館</li> <li>・参加者数：40人</li> </ul> <p>&lt;研究進捗報告会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成28年3月23日</li> <li>・開催場所：ラッセホール</li> <li>・参加者数：54人</li> </ul> <p>&lt;研究会等の運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営数：4件（①鉄鋼スラグ利用拡大、②バイオ燃料事業化、③炭素繊維リサイクル、④CLT活用による兵庫県産木材の利用拡大）</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究会等の運営数</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>事業化数（延べ）</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	研究会等の運営数	4件	5件	4件	事業化数（延べ）	2件	3件	3件
	H26実績	H27目標	H27実績										
研究会等の運営数	4件	5件	4件										
事業化数（延べ）	2件	3件	3件										

② 兵庫県・広東省等環境ビジネス交流の推進

(800 千円)

事業名	事業内容								
「兵庫県・広東省等環境ビジネス交流会議」への支援	<p>広東省等の環境保全と広東省・兵庫県の環境産業の振興を図るため、兵庫県の企業・団体に中国の環境問題や広東省の企業等に関する情報を提供するとともに、広東省環境関連部局・団体との交流事業を推進する。</p> <p>平成 27 年 11 月 9 日にラッセホールで「中国環境ビジネスセミナー」を開催し、中国における環境問題と環境ビジネスの動向について情報提供を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国環境ビジネスセミナー参加者数</td> <td>54 人</td> <td>50 人</td> <td>47 人</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	中国環境ビジネスセミナー参加者数	54 人	50 人	47 人
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
中国環境ビジネスセミナー参加者数	54 人	50 人	47 人						

(5) 普及啓発事業

(5,041 千円)

循環型社会構築を目指した県民レベルのさまざまな活動を促進するため、地域における 3R 推進活動を担う人材育成とその活動支援を行った。

事業名	事業内容								
クリーンアップひょうごキャンペーン	<p>ごみの散乱を防止し、ひょうごのイメージアップを図るため、5 月 30 日（ごみゼロの日）から 7 月 31 日まで、県民・NPO・事業者、行政と共に県内全域において展開する環境美化統一キャンペーンを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリーンアップひょうごキャンペーン参加者数</td> <td>590,600 人</td> <td>681,000 人</td> <td>629,000 人</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	クリーンアップひょうごキャンペーン参加者数	590,600 人	681,000 人	629,000 人
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
クリーンアップひょうごキャンペーン参加者数	590,600 人	681,000 人	629,000 人						
海岸漂着物地域対策推進事業	<p>海洋、海岸における良好な景観及び環境を保全するため、漂流・海底ごみ、海岸漂着物等の円滑な処理及び発生抑制を図る。</p> <p>事業実施にあたっては、クリーンアップひょうごキャンペーンとの連携の下に、海岸地域の住民のみならず広く県民を対象に普及啓発を行った。</p>								
環境にやさしいマイバッグ運動の推進	<p>資源の有効利用と地球温暖化防止に繋がるマイバッグ運動の周知を図った。(啓発用資材の配布、普及啓発)</p>								

事業名	事業内容
3R・低炭素社会検定事業	<p>「3R・低炭素社会検定実行委員会」が全国各地で主催・実施する「3R・低炭素社会検定試験」の兵庫県における運営と試験対策講習会を実施した。</p> <p>&lt;試験対策講習会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成27年11月23日</li> <li>・開催場所：兵庫県民会館</li> <li>・参加者数：延べ10人</li> </ul> <p>&lt;3R・低炭素社会検定試験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験実施日：平成28年1月10日</li> <li>・試験会場：兵庫県民会館</li> <li>・受験者数：延べ36人</li> </ul>
3R推進活動支援事業	<p>地域における3Rの推進活動を担う人材のスキルアップを図ることを目的に、「ひょうご3Rネットワーク登録者」（検定試験合格者が対象）に対し、市町廃棄物処理担当者と合同で再生可能エネルギー施設見学会を平成27年8月28日に淡路島の五色町で開催した（参加者40名）。</p>
地域別循環型社会づくり推進会議支援事業	<p>ごみの減量化、再利用、再資源化等に配慮した県民・事業者の生活・事業活動の推進を図るため、複数の市町と消費者団体・事業者を構成員として設置された「地域別循環型社会づくり推進会議」に対して、実践活動経費の一部を助成した。</p>
東播磨地域住民への啓発事業 新規	<p>東播磨県民局が実施する管内の小学生を持つ親子を対象とする地球温暖化防止活動に係る3R等の普及啓発活動を支援した。</p>
北播磨地域住民への啓発事業 新規	<p>北播磨県民局が実施する管内の小学生を持つ親子を対象とする地球温暖化防止活動に係る3R等の普及啓発活動を支援した。</p>
「阪神・淡路大震災における災害廃棄物処理の経験と南海トラフ地震への対応」の取りまとめ 新規	<p>関西大学が「平成27年度環境総合研究推進費研究」として環境省より受託した「巨大地震による災害廃棄物に関わる社会リスクをふまえた持続可能な適応策評価」の実施にあたって、必要な一部データ・情報の取りまとめを当協会が支援した。</p> <p>(支援範囲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①阪神・淡路大震災における災害廃棄物処理の実態把握</li> <li>②南海トラフ地震への対応に係る情報収集</li> </ul>

### 3 環境調査・測定分析事業（環境技術事業本部）

運営責任と収支の明確化等を図るため導入した社内カンパニー制の下、事業量と収益に見合う体制を構築し、独立採算を旨とした環境調査・測定分析事業を推進した。

#### （1）営業活動の推進

協会の特徴的な分野を前面に打ち出し、他社が追随できない各主体間を調整する能力を活かすため、次により戦略的に営業活動を推進し、総合的なコンサルティング事業や測定分析事業などの受注拡大を図った。

- ① 発注情報の早期収集、継続事業の確保等、積極的な営業活動の推進
- ② 公募提案型事業の積極的な参加による受注拡充
- ③ 環境研究センターとの一体的運用による高度な業務の受注拡大
- ④ 公募提案型事業のパートナーや学識者など、人的ネットワークの拡大
- ⑤ 協会の強みを活かした受注促進（土壌対策、ダイオキシン類・クリプトスפורジウム・アスベスト・PM2.5等の分析）
- ⑥ 顧客の信頼による継続した受注確保
- ⑦ 収益性の悪い受注は漸減

#### 【環境調査・測定分析事業の年間総受託額】

	H26 実績	H27 目標	H27 実績
環境調査事業	146 百万円	120 百万円	102 百万円
測定分析事業	530 百万円	509 百万円	539 百万円
計	676 百万円	629 百万円	641 百万円

#### （2）環境調査事業

(83,608 千円)

市町等からの要請に応じ、低炭素社会づくり、生物多様性保全に係る調査・計画策定など、環境調査事業を公正・中立的な立場で実施した。

国発注の公募・提案型事業の積極的な受託を図るとともに、顧客が抱える課題解決に向けた提案を行うなど、積極的に業務の受注を進めた。

事業区分	業務名	受託先
低炭素社会に向けた取り組み	スマートコミュニティ基礎調査	民間事業者
	水力発電事業の現状把握と推進検討	民間事業者
自然環境の保全・再生	武庫川水系 武庫川 武庫川峡谷環境調査	兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所
	武庫川水系 武庫川 上流武庫川モニタリング調査	兵庫県丹波県民局 丹波土木事務所

事業区分	業務名	受託先
自然環境の保全・再生	上山高原自然再生事業モニタリング・事業監理等	兵庫県自然環境課
	あわじ石の寝屋緑地事後調査	兵庫県淡路県民局 洲本土木事務所
	しあわせの森管理運営計画検討支援	神戸市公園砂防部緑地課
	他 14 件	
循環型社会の形成	豊岡第 2 清掃センター早期安定化対策効果検証業務	豊岡市環境センター
	ごみ処理施設変更に関する生活環境影響調査	北播磨清掃事務組合、三木市
	破砕施設設置に関する生活環境影響調査	民間事業者
	他 5 件	

	H26 実績	H27 目標	H27 実績
年間受託件数	50 件	40 件以上	38 件
うち公募提案型事業受託件数	3 件	2 件	2 件

### (3) 測定分析事業

(475, 355 千円)

#### ① 測定分析業務

環境計量証明事業所として、土壌対策、ダイオキシン類・クリプトスポリジウム・アスベスト・PM2.5等の分析など、協会の強みを生かしつつ、迅速に正確な調査・分析を行った。

#### ア 受託業務

区分	業務名	受託先
兵庫県関係	大阪湾・播磨灘水域等の水質及び底質調査	水大気課
	PM2.5成分分析試料採取	環境影響評価室
	薬剤防除自然環境影響調査	豊かな森づくり課
	国有農地等土壌汚染調査	農地調整室
	他 32 件	
神戸市関係	公共用水域通年調査のうち海域の試料採取及び分析	環境評価共生推進室
	PM2.5成分分析調査	環境評価共生推進室
	下水流入水及び放流水水質分析	下水道局施設課
	他 9 件	

区 分	業 務 名	受 託 先
国及びその 他外郭団体	ダイオキシン類分析	阪神水道企業団
	他 9 件	
他市町関係	PM2.5成分分析	姫路市環境局環境政策室 他 4 市町
	水質検査	高砂市水道事業所
	大気汚染物質(粉じん等)測定	加古川市環境部環境政策課
	他50件	
民間関係	破碎施設設置に係る生活環境影響調査	—
	他36件	
合 計	152件	

#### イ 分析測定件数

事業区分	平成26年度	平成27年度
水質・土壌・産業廃棄物関係	62,169件	51,969件
水道水質検査関係	42,554件	39,724件
大気・悪臭関係	34,549件	32,864件
作業環境測定関係	1,790件	1,835件
騒音・振動関係	158件	190件
合 計	141,220件	126,582件

#### ○ 目標分析日数

〔 環境水・工場排水：14日間  
水道水・ばい煙：10日間 等 〕

#### ② 精度管理の向上

測定値の信頼性を確保・維持するため、内部精度管理及び外部精度管理の年間実施計画を策定し、計画的に実施した。

なお、一部の測定結果が目標値を超えたため、原因究明、改善措置を行った。

#### ○ 内部精度管理

無機物：濃度既知試料の測定値が設定値の±10%以内

有機物：濃度既知試料の測定値が設定値の±20%以内

〔 ただし、ダイオキシン類については、濃度既知試料の測定値が設定値の±30%以内（適合率90%以上） 〕

#### ○ 外部精度管理：Zスコア±2以内

〔 ただし、・ダイオキシン類：Zスコア±3以内 〕

・作業環境測定（遊離ケイ酸を除く）：設定値の±10%以内

・遊離ケイ酸：設定値の±15%以内

#### 4 環境研究事業（兵庫県環境研究センター）

(49,032 千円)

##### (1) 多様化する環境問題への対応

PM2.5、黄砂等による広域汚染、大阪湾の環境改善の停滞化や播磨灘における海苔の色落ち、有機フッ素化合物等の未規制化学物質の問題、地球温暖化問題、原発事故による放射性物質拡散など、環境に関する新たな問題が次々と発生しているため、今までの研究成果を活かし、関係機関と連携して、これらの環境問題の解決に取り組んだ。

##### ① 広域大気汚染対策等の新たな問題の解決に向けた研究の推進

(平成 26～28 年度)

事業名	事業内容
閉鎖性海域等の環境対策に関する研究	人工干潟が有する多面的機能を明らかにするため、①人工干潟の構成要素の一つである垂直護岸について生物生息場としての機能評価を行うとともに、②栄養塩類生成に寄与する生物の量的変動および構成種の変化について経時的に調査した。また、管理強度（利用者の入場制限、海開き期間）及び利用度が異なる 2 か所の干潟である尼崎港人工干潟（管理強度：高、利用度：低）、夙川河口御前浜（管理強度：低、利用度：高）について、二酸化炭素固定機能を検討した。
有害化学物質対策に関する研究	兵庫県域における有害化学物質の環境リスクを評価するため、①都道府県別に見て排出量の多い PRTR 対象化学物質に着目し、高濃度が懸念される地域で環境調査を実施し、健康影響のおそれが低いことを確認するとともに、②全国的な PM2.5 成分分析の測定時期に合わせて多環芳香族炭化水素 (PAHs) と残留性有機汚染物質 (POPs) の測定を行った。また、③底質中のヘキサブロモシクロドデカン (HBCD) の環境実態調査を行うとともに、④ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤 (BUVs) の分析条件を確立し、環境試料（水質・底質）の調査を行った。
広域大気汚染対策及び地域大気汚染対策に関する研究	大気汚染に係る詳細なデータを実測して把握するとともに、レセプターモデルを用いた PM2.5 発生源解析や気象/大気質モデルの構築等を行っている。 平成 27 年度は、①PM2.5 の成分分析、②PMF (Positive Matrix Factorization) による PM2.5 の発生源解析と位置推定、③気象/大気質モデルの精度向上と感度解析手法による大気汚染物質の発生源解析、④大気汚染予測モデルの構築に関する検討、⑤PAHs の越境移流の影響を調べるため黄砂日における PAHs の分析等を実施した。

② 国立環境研究所及び地方環境研究所との共同研究の推進

共同研究課題名 (実施年度：共同研究機関数)	事業内容
干潟・浅場や藻場が里海里湖流域圏において担う生態系機能と注目生物種との関係（平成 27～29 年度：15 機関）	<p>参加機関が研究開発してきた手法を用い、干潟における優先種や希少種等の注目生物種が、干潟が有する食物連鎖や代謝といった生態系機能においてどのような役割を担っているか、また、環境変遷に対応して注目生物種が生息域を移動するなど、どのように適応しているかを探索することを目的としている。</p> <p>平成 27 年度は北九州市洞海湾における共同調査および連絡会議による情報交換を行った。</p>
沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究（平成 26～28 年度：21 機関）	<p>沿岸海域における富栄養化や底層溶存酸素の低濃度化といった問題を抱える研究機関が情報交換を行い、国環研主導の調査手法（水質観測機器の貸与と現場使用）を適用して、これらの問題の原因と効果的な対策について検討している。</p> <p>平成 27 年度は、東京都において全体会合を開催し、海水の溶存酸素消費実験の手法確認、結果の解釈等有益な情報交換を行った。</p>
国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明（平成 25～27 年度：29 機関）	<p>臭素系難燃剤のヘキサブロモシクロドデカン(HBCD)、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤(BUVSs)、有機フッ素化合物について、分析条件の確立、環境試料の調査、情報共有を目的として、共同研究を行った。</p> <p>平成 27 年度は、HBCD 調査事例報告を行うと共に、BUVSs の分析条件の確立と水質・底質試料の分析を行った。</p>
PM2.5 の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明（平成 25～27 年度：55 機関）	<p>環境省が公開している全国の PM2.5 成分分析データ（平成 24 年度）を用いて、参加機関ごとにレセプターモデルによる発生源解析を行い、解析結果の相違や、国内における地点間の相違等について検討を行った。</p>

	H26 実績	H27 目標	H27 実績
国立環境研究所・地方環境研究所との共同研究数	4 件	4 件	4 件

国立環境研究所との共同研究

共同研究課題名 (実施年度:共同研究機関数)	事業内容
日本のバックグラウンド地域におけるPM2.5の特性評価 (平成25～27年度:2機関)	日本のバックグラウンド地域である波照間島(沖縄県)に設置されたPM2.5自動測定機の、平成26年度及び平成27年度のPM2.5成分分析常時監視期間におけるテープろ紙を回収し、PM2.5に含まれる主要成分(イオン成分と無機元素成分)を分析した。

③ 国等の資金による研究

事業名	事業内容
大気環境の異なる地域におけるPM2.5及びオゾンの呼吸器系への影響に関する疫学研究(環境研究総合推進費)	兵庫医科大学との共同研究として、健康影響を評価するための大気汚染の実測データの収集および発生源解析を分担し、中播磨県民センターおよび弓削商船高等専門学校で各季節の大気環境調査を行うとともに、シミュレーションモデルによる地域の大気汚染の解析に着手した。
大阪湾の干潟が有する二酸化炭素固定能(カーボンシンク機能)の評価と立地履歴、管理強度の影響解析(環境研究総合推進費)	国立環境研究所、東京都環境科学研究所、三重県水産研究所との共同研究で、干潟に生息する生物およびその死骸の残留物である貝殻が存在することによる炭素固定量を見積もって干潟の新たな有用性を提示すること、および流入河川の有無による干潟の特性に応じた炭素固定量の相違を見積もることを目的としている。 平成27年度は、干潟の底質、底生生物および生物遺骸に含まれる有機物の分解性、植物プランクトンの構成種および量的変動について検討した。
中国大都市における大気汚染の特性と健康影響に関する疫学研究(科学研究費補助金)	兵庫医科大学との共同研究として中国の武漢市で幼稚園児を対象とした健康影響調査を実施し、園内外のPM2.5濃度及び主要成分の測定を暖房期(11月)に実施した。
山地森林の霧水沈着分布と空間不均一性の評価手法の開発(科学研究費補助金)	森林生態系へ大きな影響を与えていると考えられる霧水沈着について、六甲山をフィールドとし、その実態を把握するとともに、他地域でも利用可能なシミュレーションモデルの改良を行った。

事業名	事業内容
人工干潟における栄養塩類無機化（大阪湾フェニックス助成）	植物プランクトン等に取り込まれて海域の一次生産に利用し難くなっている栄養成分（窒素とりん）が、人工干潟に生息するアサリ等の貝類によって、一次生産に利用可能な物質（栄養塩）に変換（無機化）されることを明らかにしようとしている。 平成 27 年度は、垂直護岸に生息する生物（コウロエンカワヒバリガイ、ホトトギスガイ、フジツボ類等）の寄与を検討した。

#### ④ 県の常時監視等に係る調査・分析・解析の推進

##### ア 大気汚染対策調査業務

事業名	事業内容
ダイオキシン類濃度測定調査業務	4 工場等の排ガス及び排水中のダイオキシン類濃度測定を行い、排出基準遵守状況を確認した。
ばい煙濃度測定調査業務	3 工場等の排ガス中のばい煙及び窒素酸化物、塩化水素の濃度測定を行い、排出基準遵守状況を確認した。
揮発性有機化合物（VOC）濃度測定調査業務	3 工場等の排ガス中の VOC 濃度測定を行い、排出基準遵守状況を確認した。
酸性雨監視測定業務	当センター屋上及び豊岡で雨水を毎週採取し、pH 等を測定して動向評価等を行った。
有害大気汚染物質監視業務	6 地点の環境大気検体についてトリクロロエチレン等 21 物質の有害化学物質濃度測定を行った。
アスベスト環境監視業務	一般環境や解体現場等の濃度測定を行った。一般環境では、県内 8 地点において調査を行い環境レベルの把握を行った。解体現場等周辺調査では現場において 105 件の測定分析を行い、県民局により解体作業工程の見直し指導等の速やかな対応が行われた。

##### イ 水質汚濁対策調査業務

事業名	事業内容
水質汚濁対策調査業務	河川 57 地点及び地下水 86 地点における検体について濃度測定を行った。
工場排水等分析業務	70 工場等の 84 検体について有害化学物質濃度測定を実施した。
土壌汚染対策分析業務	土壌汚染浄化対策実施 3 地区で、地下水中の有害化学物質濃度測定を行い、汚染動向や浄化効果の評価を行った。

事業名	事業内容
排出基準未設定化学物質実態調査業務	有機フッ素化合物(PFCs)やBUVs(紫外線吸収剤)等の国際的に削減に向けた取り組みが必要である化学物質を対象に調査を行った。
千苧水源池への汚濁負荷量等実態調査分析業務	千苧水源池に流入する羽束川及び波豆川各支流からの汚濁物質負荷の実態を把握するための水質調査を実施した。

ウ 化学物質環境実態調査分析等業務

化学物質による環境汚染の未然防止を図るため、ナフタレン及びクロロ酢酸の分析方法を開発するとともに、PRTR 情報から抽出された有機スズ化合物等の県内における環境中の化学物質濃度を測定した。

エ 特別管理産業廃棄物監視事業

不法投棄事案における周辺地下水への影響調査を実施した。

オ 地球温暖化対策の推進に関する調査業務

県内温室効果ガス排出量の推計、県の温暖化適応策策定に資する資料作成および、県が 27 学校に設置した温度計のデータを用いたヒートアイランド現象モニタリング調査を行った。

カ 環境放射能水準調査業務

大気試料を 2 地点、土壌試料を 1 地点で採取し、放射能測定を行い、その推移を監視した。

キ PM2.5 成分分析業務

県内 3 地点で採取された PM2.5 試料の質量濃度、イオン成分、無機元素成分、炭素成分を分析した。

ク オキシダント二次標準器による校正維持管理業務

環境研究センター内に設置されてある二次標準器を用いて、近畿ブロックの 7 自治体(6 府県、1 市)の三次標準器を校正した。

ケ 降雨時の栄養塩類の面源負荷等調査業務

降雨時に加古川流域で採水し、非降雨時に対する栄養塩類負荷量の変化を調査した。また、降雨に伴う、河川水中における栄養塩類濃度の経時変化を測定した。

コ PM2.5 注意喚起精度向上業務

注意喚起の情報提供に関して PM2.5 の濃度予測精度を向上させるため、統計手法および大気拡散シミュレーションの活用について検討した。

## (2) 環境危機への対応

不測の健康・環境危機の発生時に迅速かつ正確に対応するため、県と連携した緊急時体制を整備するとともに、迅速分析法の開発や緊急時対応に関する情報収集を行った。

ア 県と連携した緊急時体制の整備

〔 水質事故時（河川水質事故、工場等事故、油流出事故等）における体制、  
大気汚染緊急時における体制、原子力関係事象発生時における体制 〕

イ 迅速分析法の開発等

有害化学物質である多環芳香族炭化水素（PAHs）の一斉分析法を開発するとともに、迅速分析法や環境危機対応に関する情報収集を行った。

## (3) 研究成果の情報発信等

研究成果について、学会等で発表を行うとともに、環境学習イベントに参加して環境科学の普及啓発を推進した。

また、国際協力事業を推進するとともに、学生への研修を行った。

ア 学会等における研究成果の発表

発表会の名称	開催月日	発表件数等
環境化学討論会	6月24日（水）～26日（金）	3件
瀬戸内海研究フォーラム	9月3日（木）～4日（金）	2件
日本水環境学会シンポジウム	9月14日（月）～15日（火）	2件
大気環境学会年会	9月15日（火）～17日（木）	4件
兵庫自治学会研究発表大会	10月17日（土）	1件
全国大気汚染連絡協議会・第61回全国大会	11月13日（金）	1件
兵庫県環境研究センター紀要第6号の発行	11月	ホームページ 公開
全国環境研協議会研究発表会	12月1日（火）～2日（水）	3件
全国環境研協議会・東海近畿北陸支部研究発表会	1月14日（木）～15日（金）	3件
近畿大気汚染常時監視連絡会	1月28日（木）	1件
全国環境研協議会・東海近畿北陸支部有害化学物質部会	1月29日（金）	1件
全国環境研協議会酸性雨部会	2月8日（月）～9日（火）	1件
黄砂等に関する連絡会	2月15日（月）	1件
全国環境研究所交流シンポジウム	2月18日（木）～19日（金）	2件
環境研究総合推進費一般公開シンポジウム（PM2.5及びオゾン）	2月27日（土）	1件
日本水環境学会年会	3月16日（水）～18日（金）	1件

イ その他

事業名	事業内容
ふれあいフェスティバル	11月14日（土）～15日（日）、淡路で開催されたイベントに出展した。
サイエンスフェアin兵庫	1月31日（日）、神戸で開催されたイベントに出展した。
中国・広東省の大気汚染対策に係る技術協力	県と連携し、広東省職員を招聘して大気汚染対策に関する技術研修を実施した。 また、広東省を訪問し、PM2.5対策等に関する情報交換を行った。
JICA事業の推進	JICA事業の一環として、来日研修員への講義等を行った。
神戸大学との連携大学院講座	神戸大学大学院生1名に研究指導を行った。
大学からの研修生受入	兵庫県立大学生1名に研修を行った。

## 5 太陽光発電事業

(372, 923 千円)

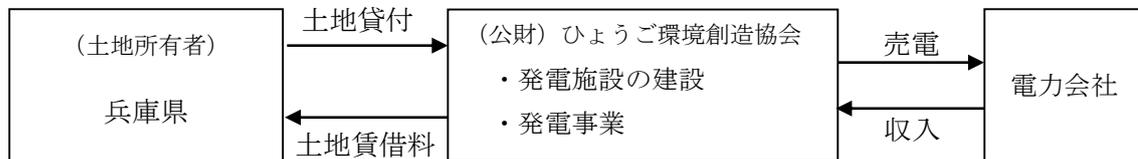
再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用し、尼崎沖フェニックス事業用地管理型区画において、太陽光発電事業を実施した。

再生可能エネルギーの創出に貢献するとともに、生じた利益は公益事業等に活用し、当該年度公益事業として実施しなかった金額については、翌年度以降の補助事業実施等に活用するため太陽光発電事業収益活用事業実施基金として積立を行った。

また、環境学習等の施設見学に対応するため、トイレ、展望台等の必要な施設の整備を行った。

区分	事業内容
発電所の名称	エコひょうご尼崎発電所
事業面積	約 15ha
発電規模	約 10 メガワット (9, 863 キロワット)
売電期間	平成 26 年 12 月 1 日～20 年間
平成 27 年度売電量	13, 091, 770kWh

### 【事業スキーム】



### 【平成 27 年度収益活用事業】

家庭における省エネ支援補助金（HEMS 機器設置への補助）

## 6 国際協力事業

(21,374 千円)

兵庫県と協力しながら、長年にわたって培ってきた環境に関するさまざまなノウハウ、技術力等を活かした国際協力事業を展開した。

事業名	事業内容								
モンゴル森林再生事業	<p>モンゴルにおける森林再生を目的に、現地 NGO がモンゴルの森林再生センター等で行う育苗や環境学習等に対し、費用の助成を行った。(H29 で終了)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モンゴルへの支援額</td> <td>1,000 千円</td> <td>1,000 千円</td> <td>1,000 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	モンゴルへの支援額	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
モンゴルへの支援額	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円						
ブラジル・パラナ州沿岸地域における自然再生普及事業	<p>グアラツوبا湾における海洋生物多様性の保全を目的に、現地 NGO がマングローブ公園内で行う環境学習・教育に対し、費用の助成を行った。(H29 で終了)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブラジルへの支援額</td> <td>500 千円</td> <td>500 千円</td> <td>500 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	ブラジルへの支援額	500 千円	500 千円	500 千円
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
ブラジルへの支援額	500 千円	500 千円	500 千円						
JICA 受託研修事業 (総合的な廃棄物管理コース)	<p>開発途上国の行政機関等の廃棄物管理担当行政官・技官を対象に、日本の廃棄物管理政策・ごみ減量・発生抑制・リサイクルならびに適正処理に関する研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象国・研修人数：(C コース) 5 カ国・9 人 (D コース) 4 カ国・6 人</li> <li>研修期間：(C コース) H27 年 8 月 20 日～H27 年 10 月 9 日 (D コース) H28 年 1 月 14 日～H28 年 3 月 4 日</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託額</td> <td>8,658 千円</td> <td>8,640 千円</td> <td>8,410 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	受託額	8,658 千円	8,640 千円	8,410 千円
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
受託額	8,658 千円	8,640 千円	8,410 千円						
セルビア国の残留性有機汚染物質の分析体制強化・排出削減対策プロジェクト (JICA 草の根技術協力事業)	<p>環境測定分析研修を実施し、当該国における分析体制の構築を図るとともに、環境汚染物質の排出状況を含めた実態解明や地域住民らへの啓発を行った。(H26 年 3 月～H29 年 3 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング能力強化のための測定分析機器の導入・整備</li> <li>専門家派遣によるモニタリング実施方法の指導</li> <li>環境汚染問題への意識の向上を目的とした啓発</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 実績</th> <th>H27 目標</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託額</td> <td>16,449 千円</td> <td>8,000 千円</td> <td>7,550 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H26 実績	H27 目標	H27 実績	受託額	16,449 千円	8,000 千円	7,550 千円
	H26 実績	H27 目標	H27 実績						
受託額	16,449 千円	8,000 千円	7,550 千円						

事業名	事業内容
パラナ州友好提携 45 周年記念ブラジル ECO ツアーの実施 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	<p>兵庫県とパラナ州の姉妹提携 45 周年記念式典がクリチバ市で開催されるのに合わせ、当協会としても友好関係の強化の一端を担うため、一般県民の参加を得てエコツアーを実施した。環境都市「クリチバ市」における効率的な交通システムや、これまで協会が事業展開してきた、グァラトゥバ湾でのマングローブ林の保全活動や再生に向けた取り組みを視察した。また、世界最大級の出力を誇るイタイプーダムの水力発電所等を見学した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期：平成 27 年 8 月 18 日～8 月 27 日（10 日間）</li> <li>・訪問先：クリチバ、グァラトゥバ、サンパウロ、イグアス</li> <li>・参加者数：11 名</li> </ul>

## 7 広報普及活動

(4,663千円)

県民、事業者、市町、団体等に対し、協会機関誌、ホームページ、E-mail通信などにより協会の活動情報や各種環境情報をタイムリーに発信した。

事業名	事業内容										
協会機関誌「エコひょうご」の発行	<p>環境に関するさまざまな情報、調査報告、寄稿など、団体・事業者・市町等の実践活動に欠かせない情報を提供するため、機関紙「エコひょうご」を発行した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号</th> <th>発行日／各号テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏号 (76号)</td> <td>平成27年6月3日／ 環境先導社会～低炭素(CO<sub>2</sub>排出をできる限り抑え地球温暖化を防止する)～</td> </tr> <tr> <td>秋号 (77号)</td> <td>平成27年9月17日／ 環境先導社会～循環(ものを大切に、天然資源の使用を出来る限り少なくする)～</td> </tr> <tr> <td>冬号 (78号)</td> <td>平成27年12月18日／ 環境先導社会～安全・快適(水や空気のきれいな安全・快適空間をつくる)～</td> </tr> <tr> <td>春号 (79号)</td> <td>平成28年3月23日／ 環境先導社会と新たな動き～COP21～</td> </tr> </tbody> </table>	号	発行日／各号テーマ	夏号 (76号)	平成27年6月3日／ 環境先導社会～低炭素(CO <sub>2</sub> 排出をできる限り抑え地球温暖化を防止する)～	秋号 (77号)	平成27年9月17日／ 環境先導社会～循環(ものを大切に、天然資源の使用を出来る限り少なくする)～	冬号 (78号)	平成27年12月18日／ 環境先導社会～安全・快適(水や空気のきれいな安全・快適空間をつくる)～	春号 (79号)	平成28年3月23日／ 環境先導社会と新たな動き～COP21～
号	発行日／各号テーマ										
夏号 (76号)	平成27年6月3日／ 環境先導社会～低炭素(CO <sub>2</sub> 排出をできる限り抑え地球温暖化を防止する)～										
秋号 (77号)	平成27年9月17日／ 環境先導社会～循環(ものを大切に、天然資源の使用を出来る限り少なくする)～										
冬号 (78号)	平成27年12月18日／ 環境先導社会～安全・快適(水や空気のきれいな安全・快適空間をつくる)～										
春号 (79号)	平成28年3月23日／ 環境先導社会と新たな動き～COP21～										
ホームページ、メディア等による情報発信	<p>県民、団体、事業者、行政等に対し、環境情報の提供を行うため、マスメディアに対して積極的に発信するとともに、ホームページにより協会の活動や各種環境情報等の提供を積極的に行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HPアクセス件数</td> <td>271,537件</td> <td>250,000件</td> <td>255,524件</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	HPアクセス件数	271,537件	250,000件	255,524件		
	H26実績	H27目標	H27実績								
HPアクセス件数	271,537件	250,000件	255,524件								
E-mail通信の発信	<p>環境関連情報等を迅速かつ幅広く提供するため、E-mailを活用して、週1回登録者に対して情報を発信した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H27目標</th> <th>H27実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E-mail通信登録者数</td> <td>1,917人</td> <td>2,500人</td> <td>2,353人</td> </tr> </tbody> </table>		H26実績	H27目標	H27実績	E-mail通信登録者数	1,917人	2,500人	2,353人		
	H26実績	H27目標	H27実績								
E-mail通信登録者数	1,917人	2,500人	2,353人								
環境関連書籍等の販売	<p>兵庫県の環境情報を発信するため、兵庫県版環境白書や兵庫県版レッドデータブック等の書籍販売を行った。</p>										

## 8 環境管理の推進

(146 千円)

自らの環境負荷を継続的に改善することにより、事業体としての社会的責任を果たすため、エコアクション21（EA21）、ISO9001及びMLAPの認証を維持した。

認証	審査日	認証登録期間
EA21	中間審査 平成28年2月24日（水）、 25日（木）、26日（金）	認証・登録日：2009年2月6日 更新日：2015年2月6日 有効期限：2017年2月5日
ISO9001	定期審査 平成27年12月11日（金）	登録日：2002年1月25日 更新日：2014年1月25日 有効期限：2017年1月24日
MLAP	—	認定日：2015年1月8日 有効期限：2018年1月7日

# 平成27年度(公財)ひょうご環境創造協会事業体系表

大項目	中項目	小項目	区分	事業費		
1 環境創造事業	(1) 地球温暖化防止の推進	① 家庭における省エネ・CO <sub>2</sub> 排出量削減の推進	ア 「うちエコ診断」(CO <sub>2</sub> 排出見える化・削減事業)の推進	公1	7,381千円	
			イ 家庭における省エネ支援(HEMS機器設置)事業		8,640千円	
		② 事業者の環境への取り組みの推進	ア エコアクション21(EA21)の導入促進		14,259千円	
			③ 再生可能エネルギーの創出		ア ひょうごグリーンエネルギー基金事業	3,685千円
		イ 兵庫県施設を活用した太陽光発電実証事業			8,312千円	
		④ 再生可能エネルギーの普及	ア 再生可能エネルギー相談支援センター運営事業		5,274千円	
			イ 再生可能エネルギー人材育成事業		5,000千円	
			ウ 地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業		88千円	
		⑤ 地球温暖化防止活動の推進	ア 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業		2,399千円	
			イ 地域における地球温暖化防止活動促進事業		2,573千円	
			ウ 地域で活動するNPO支援・連携促進事業		6,000千円	
		(2) 生物多様性保全の推進			ア 生物多様性ひょうご基金事業	6,934千円
					イ 武庫川流域連携促進支援事業	1,615千円
		(3) 環境学習・教育の推進	① 「ひょうごエコプラザ」の運営			6,630千円
					② 「ひょうご環境体験館」の管理運営	38,532千円
		(4) 環境保全創造活動の促進	③ 県民の環境学習の促進		ア エコツーリズムバス運行支援事業	6,231千円
					イ ひょうご出前環境教室の開催	750千円
					ウ 啓発資料提供	-
					エ 地球と共生・環境の集い	59千円
					オ さわやか環境フェスティバル出展	145千円
カ 環境学習ナビゲーター育成事業	3,629千円					
ア 環境保全創造活動支援事業	3,184千円					
2 循環型社会推進事業	(1) 廃棄物処理等に係る市町等支援事業等	ア 市町等の廃棄物処理施設整備や一般廃棄物減量化・処理に係る相談対応	-			
		イ 市町等からの委託による廃棄物処理施設整備に係る事務支援事業	-			
		ウ 市町等の廃棄物担当職員の研修	10,662千円			
		エ 兵庫県災害廃棄物対策協力員制度の構築	} 338千円			
		オ 兵庫県災害廃棄物対策研修				
		カ 兵庫方式による廃家電回収システムの推進	184千円			
		キ 原状回復及び原状回復調査事業	-			
		ク 未然防止及び再発防止対策に係る助成事業	-			
		(2) 廃棄物の再資源化事業(セメントリサイクル事業)		498,091千円		
		(3) 廃棄物の最終処分事業	① 但馬最終処分場事業	39,335千円		
			② フェニックス受託事業	396,704千円		
		(4) 環境ビジネスの推進	① ひょうごエコタウン構想の推進	ア 「ひょうごエコタウン推進会議」への支援	6,000千円	
			② 兵庫県・広東省等環境ビジネス交流の推進	ア 「兵庫県・広東省等環境ビジネス交流会議」への支援	800千円	
		(5) 普及啓発事業		ア クリーンアップひょうごキャンペーン	292千円	
				イ 海岸漂着物地域対策推進事業	2,486千円	
ウ 環境にやさしいマイバッグ運動の推進	761千円					
エ 3R・低炭素社会検定事業	109千円					
オ 3R推進活動支援事業	156千円					
カ 地域別循環型社会づくり推進会議支援事業	294千円					
キ 東播磨地域住民への啓発事業	500千円					
ク 北播磨地域住民への啓発事業	443千円					
ケ 「阪神・淡路大震災における災害廃棄物処理の経験と南海トラフ地震への対応」の取りまとめ	-					
3 環境調査・測定分析事業(環境技術事業本部)	(1) 営業活動の推進		取1 (3/4) 公3 (1/4)	-		
		(2) 環境調査事業	ア 低炭素社会に向けた取り組み	公3	83,608千円	
			イ 自然環境の保全・再生			
			ウ 循環型社会の形成			
		(3) 測定分析事業	① 測定分析業務	ア 受託業務	取1 (3/4) 公3 (1/4)	475,355千円
イ 分析測定件数	-					
	② 精度管理の向上		-	-		

平成27年度(公財)ひょうご環境創造協会事業体系表

大項目	中項目	小項目	区分	事業費	
4 環境研究事業(兵庫県環境研究センター) (1) 多様化する環境問題への対応	① 広域大気汚染対策等の新たな問題の解決に向けた研究の推進	ア 閉鎖性海域等の環境対策に関する研究	公4	49,032千円	
		イ 有害化学物質対策に関する研究			
		② 国立環境研究所及び地方環境研究所との共同研究の推進			ウ 広域大気汚染対策及び地域大気汚染対策に関する研究
					ア 干潟・浅場や藻場が里海里湖流域圏において担う生態系機能と注目生物種との関係
					イ 沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究
					ウ 国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明
	エ PM2.5の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明				
	オ 日本のバックグラウンド地域におけるPM2.5の特性評価				
	③ 国等の資金による研究	ア 大気環境の異なる地域におけるPM2.5及びオゾンの呼吸器系への影響に関する疫学研究			
		イ 大阪湾の干潟が有する二酸化炭素固定能(カーボンシンク機能)の評価と立地履歴、管理強度の影響解析			
		ウ 中国大都市における大気汚染の特性と健康影響に関する疫学研究			
		エ 山地森林の霧水沈着分布と空間不均一性の評価手法の開発			
		オ 人工干潟における栄養塩類無機化			
		③ 県の常時監視等に係る調査・分析・解析の推進			ア 大気汚染対策調査業務
	イ 水質汚濁対策調査業務				
	ウ 化学物質環境実態調査分析等業務				
	エ 特別管理産業廃棄物監視事業				
	オ 地球温暖化対策の推進に関する調査業務				
	カ 環境放射能水準調査業務				
	キ PM2.5成分分析業務				
ク オキシダント二次標準器による校正維持管理業務					
ケ 降雨時の栄養塩類の面源負荷等調査業務					
コ PM2.5注意喚起精度向上業務					
(2) 環境危機への対応	ア 県と連携した緊急時体制の整備				
	イ 迅速分析法の開発等				
	(3) 研究成果の情報発信等		ア 学会等における研究成果の発表		
イ その他					
5 太陽光発電事業			収2	372,923千円	
6 国際協力事業		ア モンゴル森林再生事業	他1	1,000千円	
		イ ブラジル・パラナ州沿岸地域における自然再生普及事業		500千円	
		ウ JICA受託研修事業(総合的な廃棄物管理コース)		8,409千円	
		エ セルビア国の残留性有機汚染物質の分析体制強化・排出削減対策プロジェクト(JICA草の根技術協力事業)		公3	7,550千円
		オ <small>新規</small> パラナ州友好提携45周年記念ブラジルECOツアーの実施		他1	3,915千円
7 広報普及活動		ア 協会機関誌「エコひょうご」の発行	公1	2,378千円	
		イ ホームページ、メディア等による情報発信	全体	1,755千円	
		ウ E-mail通信の発信	公1	—	
		エ 環境関連書籍等の販売	収1	530千円	
8 環境管理の推進			全体	146千円	

管理費等	256,542千円
事業費計	2,352,118千円